

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	五日市レインボールーム 児童発達			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	R7年 1月 13日 ～ R7年 1月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育で細かく支援を行う	児童発達支援は個別療育中心に利用者の特性・発達・興味に合わせた療育を行い、小さな成功体験を積み重ねていく療育をしている。	カンファレンスや勉強会などを通してより子どもを理解しより良い療育支援が提供できるようにしていく。
2	保護者支援の方法	保護者と定期的な面談を行い子育てなどの悩みなどに応じて支援を行っている 茶話会を開催し保護者が集う場を設けている。 療育の様子など連絡帳・ブログ等で伝えている。	保護者との連絡ツール（システムアプリケーション）を活用し保護者が事業所を身近に感じられるようにしていく。
3	子どもの発達や感覚に応じた療育を行う	感覚統合遊具・粗大遊びの部屋などの整備により子どもの感覚のニーズに応じた療育を行っている。	子どもの発達や感覚のニーズに合わせて今後も環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の整備	車椅子対応の整備。	利用者の特性に応じた環境に配慮していく。
2	時間の設定	利用している子どもの年齢・発達・特性などを鑑み、一人の子どもの療育時間を1時間に設定しており、療育の質を担保しながら集中して行うようにする。	利用の子どもの状況により、時間はこの限りではなく療育時間を延長する等、臨機応変に対応をしていく。
3			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年2月13日

事業所名：児童発達支援 五日市レインボールーム

対象人数(保護者)33人 回答者数 23人 回収 69.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23		
適切な支 援の提 供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23		
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	3	
保護者へ の説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23		
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援や、家族等も参加できるや情報提供の機会等が行われていますか。	23		
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23		
	⑱	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1	
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	3	
非常時 等の対 応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23		
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	
満足 度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	23		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	23		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		五日市レインボールーム					公表日		令和 7年 1月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	それぞれの指導員の目が届く空間で支援を行っている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	配置は、適切である。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	スロープを玄関前等に設置した。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、清掃・消毒を行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じた対応をしている。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		全職員に周知する時間の確保				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	アンケートを実施しながら意向を把握し改善に努めている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ミーティングで意見を聞いている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	現在は、利用者と事業所内評価のみになっている。	今後検討課題とする。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	事業所内・外で研修を受講している。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページに掲載している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	保護者面談でニーズを把握したり療育や行動観察を通して個別支援計画書を作成している。	子どもの様子に合わせてスタッフの役割、サポート体制を花入っていく。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	様々なテーマで活動を設定し、その内容は発達に応じて対応している。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員間で情報共有を行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	担当者と話し合い、時間を作っている。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	一人ひとりの発達に応じた個々の課題を集団適応・社会性の課題を支援計画に入れている。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員間で話し合い、計画を立てている。					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	たくさんの経験をしてほしいので毎月工夫している。					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	計画に基づき支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	個別支援なので、担当者が準備している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	振り返りをし、職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	その日の気づき、情報を記録し支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的に行えるようにする。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	定期的に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて主治医と連携を取っていきたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		より深められるように計画を立てて実践していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	事業所としての実績はない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5		今後検討していく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	行事に参加する。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	希望に応じて相談を受けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ペアレントトレーニングの研修に参加したので、保護者が参加できる研修を計画している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時等に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	契約時や面談等で保護者の意向を聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談で行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があれば迅速に対応し事業所側からも気になるときは声をかけている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	茶話会で保護者同士の交流の機会を月1回設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があれば迅速に対応し事業所側からも気になるときは声をかけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ホームページにて療育時の様子等を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載されている書類は、鍵付きの棚に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	担当者が日々療育内容を保護者に連絡ノートで伝達している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	月1回訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	必要に応じて緊急連絡先等の取り決めに保護者と行い、医師にも確認してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	該当者には、指示書を提出していただく。アレルギーの研修を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	マニュアルを職員間で周知するための訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	利用契約時にマニュアルを記載し家族に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	事業所内研修で共有し合っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	身体拘束している利用者はいない。	